

## 事業計画に関する内容審査 配点700点

要求事項	配点	申請団体1 枚方まなびつながりプロジェクト		申請団体2 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	
		評価	得点	評価	得点
<b>1. 申請団体の経営方針等に関する事項</b>	<b>90</b>		<b>63.00</b>		<b>45.00</b>
①経営方針	30	3	15.00	3	15.00
②指定管理者の指定を申請した理由	25	4	20.00	3	12.50
③経営の継続性・安定性	35	4	28.00	3	17.50
<b>2. 施設の経営方針に関する事項</b>	<b>480</b>		<b>376.50</b>		<b>240.00</b>
①施設の現状に対する考え方及び将来展望	15	4	12.00	3	7.50
②施設運営に関する計画 ア) 管理経費・管理体制の提案	30	4	24.00	3	15.00
イ) 改善提案(生涯学習市民センター)	120	4	96.00	3	60.00
ウ) 改善提案(図書館)	120	4	96.00	3	60.00
エ) 事業提案(生涯学習市民センター)	85	4	68.00	3	42.50
オ) 事業提案(図書館)	85	4	68.00	3	42.50
カ) 利用者対応提案	25	3	12.50	3	12.50
<b>3. 施設の管理に関する事項</b>	<b>80</b>		<b>40.00</b>		<b>40.00</b>
施設の管理に関する事項	80	3	40.00	3	40.00
<b>4. 情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項</b>	<b>15</b>		<b>7.50</b>		<b>7.50</b>
情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項	15	3	7.50	3	7.50
<b>5. 緊急時における対策に関する事項</b>	<b>20</b>		<b>16.00</b>		<b>10.00</b>
緊急時における対策に関する事項	20	4	16.00	3	10.00
<b>6. その他</b>	<b>15</b>		<b>7.50</b>		<b>7.50</b>
その他	15	3	7.50	3	7.50
<b>得点合計(A) (700点満点)</b>	<b>700</b>		<b>510.5</b>		<b>350.00</b>

## 指定管理料の額 配点300点(1位の額を300点とする)

項 目	申請団体1 枚方まなびつながりプロジェクト	申請団体2 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
提案された指定管理料(単位:円)	1,078,138,000	1,077,922,611
提案された指定管理料の順位	2	1
指定管理料の得点(B)【300-300×(提案額-1位の額)÷1位の額】(300点満点)	299.94	300.00

## ○総合評価点

項 目	申請団体1 枚方まなびつながりプロジェクト	申請団体2 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
総合評価点(A+B)	810.44	650.00
順位	1	2

## ○評価内容

### ＜申請団体1＞ 枚方まなびつながりプロジェクト

申請団体は、豊富な同種施設の実績があり、現指定管理者としての実績や本施設の現状認識に基づく提案は、現実的なもので、その実現は大いに期待できる。

施設広報・地域連携担当者を選任するなど、運営の拡充に努めるとともに、学校へのアウトリーチを充実させる取り組みや、コロナ禍の中でも、施設活性化につなげる自主事業や施設連携事業のオンライン配信などが提案されており工夫が見られる。利用者目線に立った魅力ある提案がなされており、現状のブラッシュアップに加えて新しい提案が多数なされているという点で評価できる。

これらの内容を含め、安定した着実な施設経営が期待でき、他の申請団体よりも優れた内容であると評価できる。

なお、より高いレベルのサービスの提供や、利用率向上に結びつくような申請団体の更なる取り組みに期待する。

### ＜申請団体2＞ カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社

申請団体は、単一の事業体であり、施設全体の効率的運営が期待できる反面、設備管理、警備、清掃などが再委託されることになっており、維持管理面に関して専門的な知見が十分であるのか、やや不安を感じる。また、マルチタスクによる人件費の節減はサービスの低下に繋がる可能性がある。

事業提案については、利用時間帯区分の変更、市民活動のポータルサイト、デザイン担当の配置、SNS等の活用など利便性の向上が期待できる提案がされているが、実現可能性を十分に検討した上で提案しているのかやや疑問がある。

高齢者・障害者サービスについては、多様な配慮を模索しており、好印象であった。

全体的に概念的な段階での記述が多く、抽象的な提案に留まっているところがあり、有効性が十分に伝わる提案ではなかった。